

月報だより

月報だよりの原稿は毎月 20 日締切、翌月に発行の「天文月報」に掲載致します。校正をお願いしておりますので、締切日よりなるべく早めにお申し込み下さい。

e-mail で gpjimu@asj.or.jp 宛、なお、原稿も必ず 0422-31-5487 迄 Fax でお送り下さい。

人事公募

標準書式：なるべく、以下の項目にしたがってご投稿下さい。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員（ポスト・人数など）、2. (1) 所属部門・所属講座、(2) 勤務地、3. 専門分野、4. 職務内容・担当科目、5. (1) 着任時期、(2) 任期、6. 応募資格、7. 提出書類、8. 応募締切・受付期間、9. (1) 提出先、(2) 問合せ先、10. 応募上の注意、11. その他（待遇など）

国立天文台電波天文学研究系教授

1. 教授 1 名
2. (1) 電波天文学研究系  
(2) 長野県南佐久郡南牧村野辺山
3. 太陽電波天文学
4. 当該分野では、電波ヘリオグラフおよび「ようこう」衛星による観測的研究を行うとともに次期太陽観測衛星 Solar-B 計画推進の一翼も担っています。また宇宙電波分野と協力して ALMA（大型ミリ波サブミリ波干渉計）計画推進にも参画するとともに、将来的には両電波分野を統合する方向で検討が進んでいます。今回の公募では、電波ヘリオグラフの運用を中心として観測的成果をあげつつ、将来構想を指導的に推進する教授を求めます。
5. 平成 13 年度のなるべく早い時期
6. 大学院博士課程修了またはそれと同等以上
7. (1) 略歴書、(2) 研究歴、(3) 研究論文リスト（査読論文とその他を区別し、共著の主要論文には役割分担を記すること）及び主要論文の別刷、(4) 研究

計画書、(5) 本人について意見を述べられる人 2 名の氏名と連絡先

8. 平成 13 年 3 月 15 日(木) 必着
9. (1) 〒 181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1  
国立天文台長 海部宣男  
(2) 〒 384-1305 長野県南佐久郡南牧村野辺山  
電波天文学研究系主幹 中井直正  
Tel: 0267-98-4392  
E-mail: nakai@nro.nao.ac.jp
10. 封筒の表に「電波天文学教授応募書類在中」と朱記し、郵便の場合は簡易書留でお送り下さい。選考は国立天文台運営協議員会において行います。

東京大学大学院理学系研究科  
天文学教育研究センター教官公募

1. 助教授 1 名
2. (1) 東京大学大学院理学系研究科天文学教育研究センター  
(2) 東京都三鷹市大沢 2-21-1
3. 観測天文学
4. 当センターは、電波天文学、銀河天文学、恒星物理学の 3 部門および木曾観測所で構成されています。これらの研究部門と連携をとりつつ研究を進められる方を求めます。また天文学専攻の専任教官として大学院での指導・教育にも携わっていただきます。
5. 採用決定後出来るだけ早い時期
6. 博士の学位あるいはそれと同等の研究歴をもつ方
7. (1) 履歴書（写真添付）、(2) これまでの研究概要、(3) 業績リスト、(4) 主要論文別刷（3 編以内）、(5) 着任後の研究計画と抱負、(6) 本人について意見を述べられる人 2 名（国内外を問わない）の氏名と連絡先
8. 2001 年 2 月 10 日(土) 必着
9. (1)と(2)  
〒 181-0015 東京都三鷹市大沢 2-21-1  
東京大学大学院理学系研究科天文学教育研究センター センター長 吉井 謙  
Tel: 0422-34-5027  
Fax: 0422-34-5041  
E-mail: yoshii@mtk.ioa.s.u-tokyo.ac.jp
10. 封筒に「助教授応募書類」と朱書きし、直接持参するか、簡易書留で郵送のこと。LaTeX File で E-mail による応募も可

## 早稲田大学理工学部物理学科専任教員公募

1. 教授, 助教授, または専任講師 1名
2. 早稲田大学理工学部物理学科 (大学院も兼任). 当学科では講座制はとらず各自独立に研究室を運営している. また教育・研究両面で応用物理学科と密接に協力しあっている
3. 宇宙物理学 (理論). これからの新しい宇宙物理学の進展に意欲を持って取り組める方
4. 学部・大学院における教育・研究指導
5. (1) 2002年4月1日
6. 博士号取得者. 私立大学の状況を理解し, 教育にも熱意を有する方. 着任時40歳程度までが望ましい
7. ○履歴書 (写真添付), ○業績リスト, ○主要論文5編以内の別刷り (コピー可) とその概要, ○これまでの研究概要と着任後の研究計画, 教育への抱負, ○照会可能な方2名の氏名と連絡先. 以上いずれも2部ずつ (コピー可) 提出のこと
8. 2001年5月7日(月) 必着
9. (1) 〒169-8555 新宿区大久保 3-4-1  
早稲田大学理工学部物理学科主任  
中里弘道 Fax 03-5286-3492  
(2) 同学科 前田恵一  
Tel: 03-5286-3442  
E-mail: maeda@mn.waseda.ac.jp  
なお <http://www.phys.waseda.ac.jp/index-j.html> を参照
10. 封筒に「応募書類 (宇宙) 在中」と朱書し, 簡易書留で送付のこと. 応募書類は返却しない

## 国立天文台 COE 研究員公募

1. 研究者 若干名
2. 以下の各分野で公募します.  
(1) 宇宙電波分野  
45m 電波望遠鏡のマルチビーム超伝導受信機の開発, 45m 望遠鏡と干渉計を結んだレインボー, 大型ミリ波サブミリ波干渉計などミリ波・サブミリ波観測性能の高感度プロジェクトに従事し, 電波天文学分野における先進的な観測研究を推進する.  
(2) 主として長野県南佐久郡南牧村野辺山  
-----  
(1) すばる望遠鏡プロジェクト  
共同利用を開始した大型光学赤外線望遠鏡「すばる」のプロジェクトに従事し, 望遠鏡, 観測装置に関わる開発研究やすばるを用いた観測研究を推進する.  
(2) ハワイ観測所, 東京都三鷹市, 岡山県浅口郡など.

## (1) VLBI 分野

VSOP, 国内 VLBI 等のプロジェクトに従事し, 活動的銀河核・星形成領域や星周領域のメーザー源などの観測・研究を推進する.

## (2) 主として東京都三鷹市

## 〈一般分野〉

(1) 天文学データ解析計算センター (地上観測を中心とした総合的天文データベースの構築等)

## (2) 東京都三鷹市

(1) 理論天文学 (理論天文学, 大規模天文シミュレーション等)

## (2) 東京都三鷹市

(1) 太陽物理学 (「ようこう」衛星, 太陽フレア望遠鏡等)

## (2) 東京都三鷹市

(1) 位置天文・天体力学研究 (位置天文, 光赤外線干渉計, 重力波関連の技術開発等)

## (2) 東京都三鷹市

(1) 地球回転 (地上 VLBI 統一計画, 月面 VLBI 等)

## (2) 岩手県水沢市

(1) 太陽電波 (電波ヘリオグラフ等)

## (2) 長野県南佐久郡南牧村野辺山 411

(1) 天文機器開発実験センター (天文機器開発等)

## (2) 東京都三鷹市

5. (1) 平成13年4月以降, (2) 原則として2年
6. 博士の学位を取得または平成13年3月31日までに取得見込みのもので, 平成13年4月1日現在35歳未満のもの
7. (1) 履歴書, (2) 研究歴, (3) 研究論文リスト (査読論文とその他を区別し, 共著の主要論文には役割分担を記すこと) (4) 主要論文の別刷り又はコピー, (5) 研究計画書 (希望の分野・プロジェクトを明記のこと. 併願の場合はそれぞれの計画書), (6) 推薦書 (ある場合は添付)
8. 平成13年2月21日(水) 当日17時必着
9. (1) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1  
国立天文台長 海部宜男  
(2) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1  
国立天文台企画調整主幹 観山正見  
Tel: 0422-34-3738
10. 封筒の表に「COE 研究員応募書類在中」(○○分

野〇〇)と朱記し、郵送の場合は簡易書留で送付すること。別に公募する「国立天文台研究員」に併せて応募することは差し支えない。待遇は非常勤講師の扱いで、給与は月額30万程度を供する。複数の分野に併願可能であるが、それぞれに応募書類を提出すること。なお勤務時間のおよそ半分は自らの研究にあてることができる。

## 国立天文台研究員(非常勤研究員)公募

### 1. 研究員 若干名

国立天文台において、開発、観測、研究等に積極的に取り組み、先進的な研究を推進する若手研究者を求める。以下に分野、及び勤務地を掲げる。

(1) 電波天文学分野(若干名)

(2) 主として長野県南佐久郡南牧村野辺山

(1) 天文学データ解析計算センター(若干名)

(2) 東京都三鷹市

(1) 光学赤外線天文学(若干名)

(2) 東京都三鷹市(若干名)又は岡山県浅口市郡鴨方町(若干名)(応募に関しては勤務地を明記のこと。併願も可能。)

(1) 地球回転研究分野(VLBI天文学を含む)(若干名)

(2) 主として東京都三鷹市

<一般(若干名)>

(1) 上記以外の研究分野

(2) 主として東京都三鷹市

5. (1) 平成13年4月1日以降

(2) 原則として任期2年

6. 大学院修士課程修了、又はそれと同等の学力を持つ者。

7. (1) 履歴書、(2) 研究歴、(3) 研究論文リスト(査読論文とその他を区別し、共著の主要論文には役割分担を記すこと)(4) 主要論文の別刷又はコピー、(5) 研究計画書(希望の分野・勤務地、受け入れ教官名(希望)を明記のこと)、(6) 推薦書(ある場合は添付)

8. 平成13年2月21日(水)当日17時必着

9. (1) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1

国立天文台長 海部宣男

(2) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1

国立天文台企画調整主幹 観山正見

Tel: 0422-34-3738

10. 封筒の表に「国立天文台研究員応募書類在中」(〇〇分野)と朱記し、郵送の場合は簡易書留で送付すること。別に公募する「国立天文台COE研究員」に併せて応募することは差し支えない。教務補佐員としての給与を支給する(詳細については上記に問い合わせること)。複数の分野に併願可能であるが、それぞれに応募書類を提出すること。なお勤務時間のおよそ半分は自らの研究にあてることができる。

## 人事公募結果

### 国立天文台教官(教授)

1. 第93巻5号

2. 長谷川哲夫(東大天文学教育研究センター)

3. 2000年12月1日

### 国立天文台教官(宇宙電波分野助手)

1. 第93巻5号

2. 高野秀路(国立天文台非常勤研究員)

3. 2001年1月1日

### 国立天文台教官(LMSA 分野助手)

1. 第93巻5号

2. 井口 聖(国立天文台COE研究員)

3. 2001年1月1日

## 研究助成

### 第32回平成13年度

### 三菱財団自然科学研究助成応募要領

#### 1. 助成の趣旨

近年の自然科学の進歩はめざましく、各学問分野の研究の深化はもとより、分野間の相互作用によりつぎつぎに新たな研究領域が誕生しつつあります。このような状況のもとで本事業は、これら

の科学・技術の基礎となる独創的、かつ先駆的研究とともに、既成の分野にとらわれず、すぐれた着想で新しい領域を開拓する萌芽的研究に期待して助成を行います。

すぐれた独創的な研究を助成の対象と致しますが、複数の分野にまたがる新しい現象を模索する実験・理論や、環境問題の基礎的研究も対象と致します。

なお、この助成金は研究達成のため十分に活用できるように、その用途をとくに制限致しません。

## 2. 助成の概要

### (1) 応募資格

本助成は、原則として、一つのテーマとして独立した個人研究（但し少数グループによる研究も含む）を対象と致します。完全公募制であり各研究者は自由に応募頂けますが、当該代表研究者が日本国内に居住し、国内に継続的な研究拠点を有する場合（国籍等は不問）に限られます。又、営利企業等関係者は対象外となります。

### (2) 助成金額

総額 3 億円を予定。1 件当たり 2 千万円以内とし、採択予定件数は 30 件程度を目途と致します。なお研究の性質上比較的少額で足りる内容のものも充分考慮されます。

### (3) 助成金使途

上記助成趣旨に記載の通り、制限はありません。通常の設定費、消耗品費、旅費等は勿論、研究上特に必要な場合は、研究補助者への謝金等も可（但し当該代表研究者がこれらすべての運用責任を持つ）とされます。

### (4) 助成期間

1 年を原則とします（助成金は、贈呈決定後、通常は 1 年間で使用される事となります）。研究の性質上 1 年を超えるものについても、強力的に対処致しますので、ご相談下さい。

### (5) 助成決定後の義務・条件

後記選考の結果、助成決定を受ける事に決められた場合は、財団所定の「助成承諾書」を別途提出頂き、これにより研究経過・完了の報告、収支会計報告、その他使途変更事前相談手続等の義務を負って頂く事になりますが、当面、これら事務事項以外の格別の義務・条件はありません。

## 3. 選考方法・結果通知等

### (1) 選考方法

財団委嘱の下記委員からなる選考委員会において慎重審議の上、その答申案に基づき、平成 13 年 7 月開催予定の財団理事会・評議員会

において正式決定されます。

### (2) 結果通知等

- ・結果は、決定後直ちに代表研究者宛通知されます。なお「助成決定者」の一覧は、各種学術関係広報資料（科学新聞、学会ニュース等）にも掲載致します。
- ・決定者への助成金贈呈は、平成 13 年 9 月の予定です。

## 4. 応募方法

### (1) 「助成申込書」の作成

イ。「申込書の内容・書式」は、当財団インターネットホームページ上にて「財団概要」、「助成応募要領」等共々、12 月以降、平成 13 年度分を掲載致しますので、これをご参照下さい。

「ホームページアドレス」

[http://www.dias.ne.jp/m\\_zaidan/](http://www.dias.ne.jp/m_zaidan/)

ロ。「申込書用紙」は、原則として、このインターネットホームページにて、ワープロ形式（一太郎、MS-WORD、Mac 版 EGWORD）で示してあるものをダウンロードの上、ご使用下さい。別に、当方より関係大学、研究所等宛に、送付済の用紙あるいはそのコピーを使用頂いても結構です。上記何れの方法にも依り得ない場合は、財団事務局宛、「宛先記入済の返信用角 2 封筒に、160 円切手添付」の上、郵送ご請求あれば用紙等お送り致します。

### ハ. 記入上のご留意点

- ・ワープロ又は、黒ボールペンを使用し、楷書で明瞭に記入して下さい。
  - ・申込書の研究題目上部欄に申込研究題目のコード番号をご記入下さい（別添コード表ご参照。なお本表は平成 13 年度版文部省科研費申請コードに準じたもの）。
  - ・代表研究者が大学・研究所等に所属される場合は、当該大学・研究所等の所属機関の「長」から本件研究助成申込についてのご承認を得て下さい（申込書末尾書式の通り）。
- 又、他機関に所属する協同研究者の参加が必要な場合も、協同研究者の所属機関の「長」のご了承を、予め代表研究者よりお取り置き願います。

### (2) 「助成申込書」の提出並びに受付

「助成申込書」の提出は、文書によります。昨年度迄実施しておりました「インターネット登録」は、平成 13 年度は実施致しません。又、FAX あるいはホームページ上での受付、E-

mailでの申込受付も致しません。

「助成申込書」の正1通、副5通(コピー)を、左肩上で各ホチキス留めして、直接財団宛ご送付下さい。

なお、正1通には、採否結果通知用に使用しますので、結果連絡先の住所・氏名ご記入の名宛シール(定形封筒用サイズ)を1枚添付して下さい。

(3)「助成申込書」受付の確認

「助成申込書」到着と同時に受付番号を採番しご返送しますので、宛先住所・氏名ご記入済の返信用はがきを同封して下さい(学内等で「助成申込書」を同時に多数ご送付の場合は、個人別はがき又は申込者氏名一覧表と80円切手貼付の返信用封筒を同封して下さい)。

財団法人 三菱財団

〒100-0005 東京都千代田区丸の内2丁目5番2号  
(三菱ビルヂング15階)

Tel: 東京 03-3214-5754

Fax: 東京 03-3215-7168

(4) 応募期間

平成12年12月15日(金)  
～平成13年2月22日(木)  
(極力早目にご提出下さい。)

主たる観測についての説明。

- (2) 観測所の環境(天候の具合・観測可能時間帯・機材・電話、Fax、ネットワーク等の施設について。)
- (3) 連絡先(氏名、住所、電話、Fax、E-mail)
2. 応募資格  
個人、団体(高校、大学等の研究グループ等)を問いません。
3. 応募書類送付先  
〒180-0023 東京都武蔵野市境南町2-3-14  
グローリア初穂武蔵境609 日本スペースガード協会
4. 応募の締めきり: 2001年2月28日(必着)
5. 採用の発表  
2001年3月中
6. 審査  
日本スペースガード協会 研究助成委員会
7. 問い合わせ先  
日本スペースガード協会 事務局  
Tel/Fax : 0422-30-7650(月・水・金)  
e-mail : spacegd@cc.rim.or.jp  
磯部瑋三(日本スペースガード協会理事長)

研究会・集案案内

NPO 法人「日本スペースガード協会」による  
研究助成金の公募

日本スペースガード協会では今年度から「日本宇宙フォーラム」からの依頼を受けて「美星スペースガードセンター」での観測研究を事業として行っています。ご存じのように、小惑星の軌道決定には2夜以上の精密な位置観測が必要なため、発見後のフォローアップ観測が特に重要です。このため「美星スペースガードセンター」もしくは他の方の第一発見後のフォローアップ観測を積極的に支援して下さる方に対して、「研究助成金」を支給することになりました。つきましては以下のとおり公募しますので、ご希望の方は応募要領にしたがって申し込んでください。採用は今年度1名です。応募者の中から厳正な審査のうえ決定させていただきます。

・支給される助成金の金額は約40万円(1件のみ)です。

◆応募要項

1. 次の項目について、A4横書きでまとめてください(特に、フォーマットは指定しません)。
- (1) どのような観測・研究をしたいかおよび過去の

一天文学講演会・南天に広がれ宇宙ロマン8—  
宇宙はどこまでわかってきたか  
「ハッブル」から「なんてん」まで

20世紀、宇宙の研究はすばらしい飛躍をとげました。最近では、ハッブル宇宙望遠鏡に始まり、「すばる」、ケック、VLT、そして「なんてん」などの新しい観測装置が、次々に新たな宇宙の姿を解明しています。この講演会では、最新の画像を駆使して、テレビなどでは取り上げられない宇宙研究の成果とその意味を、第一線の天文学者がわかりやすく解説します。

金沢会場

日時:平成13年2月17日(土)16:00開会  
会場:三谷産業株式会社(石川県金沢市玉川町)

東京会場

日時:平成13年3月24日(土)13:30開会  
16:30閉会

会場:科学技術館サイエンスホール  
(東京都千代田区北の丸公園 科学技術館内)

**大阪会場**

日時：平成 13 年 3 月 31 日(土) 13:30 開会 16:30 閉会

会場：アピオ大阪小ホール

(大阪市中央区森ノ宮 森ノ宮ピロティホール横)

**名古屋会場**

日時：平成 13 年 4 月 7 日(土) 13:30 開会 16:30 閉会

会場：名古屋国際会議場 レセプションホール

(名古屋市中区熱田区熱田西町)

講師：福井康雄(名古屋大学大学院 教授) 他

申し込み方法：平成 13 年 3 月 21 日(水) (必着) (ただし金沢会場については 2 月 9 日(金)) までに下記の連絡先まで参加希望会場名, 名前, 住所, 電話番号を明記の上, 官製ハガキでご応募ください。ただし, 定員オーバーの節は, 先着順とさせていただきますのでご了承ください。

参加費：500 円 (ただし名古屋大学星の会会員, および高校生以下は無料)

連絡先：〒 464-8602 名古屋大学大学院理学研究科 天体物理学研究室

Tel: 052-789-2839 Fax: 052-782-3951

E-mail: yoshida@a.phys.nagoya-u.ac.jp

主催：名古屋大学なんてん電波天文台

http://www.a.phys.nagoya-u.ac.jp/~hayakawa/alab/index.html

後援：名古屋大学星の会

**共同利用・共同研究****平成 13 年度共同研究等の公募について**

国立天文台における平成 13 年度共同研究等の公募を次のとおり行います。

**1. 公募事項・内容****(1) 研究会・ワークショップ**

国立天文台研究会及び同ワークショップ。(研究員等旅費及び必要な場合校費(印刷費等)を支給)

**(2) 共同研究**

国立天文台の教官と天文台外の研究者により特定の研究課題について共同で行われる研究。(研究員等旅費を支給)

本研究は, 研究の形態により以下の 3 つに区分して募集します。

**(研究区分)****① 少人数型：少人数・短期の場合**

② 長期単独型：台外研究者が 1 人で, 1 週間以上滞在する場合

③ 多人数型：台外研究者が 4 人以上の, 目的を明確にした共同研究の場合

**(3) 共同開発**

共同利用観測・共同利用実験に関わる新しい装置等の開発・製作, また, より基礎的開発研究についての共同研究。(校費を主とし, 必要な場合研究員等旅費を支給)

本研究は天文観測所のために有効な機器等(ソフトウェアも含みうる)の開発研究を促進することを目的とし, 開発研究としての意義, 共同利用への有用性, 大学など各機関における研究への寄与等を重要視して審査します。

なお, 本研究については, 採否を決定するに当たって, ヒアリングを行うことがあるので, ご告知下さい。

2. 申込資格：国・公・私立大学及び国・公立研究所等の研究者又はこれに準ずる者。(大学院在学中の者は指導教官と連名で申し込んでください)

3. 申込方法：所定の様式による申込書 1 部を提出してください。

なお, 研究の内容, 経費等については, 本天文台の担当教官とあらかじめ打ち合わせてください。(担当教官が不明な方は, 小林研究交流委員会委員長 (Tel: 0422-34-3865) に相談してください。)

4. 申込締切日：平成 13 年 3 月 30 日(金) 期限厳守

5. 選考：応募研究課題の採否及び経費配分は, 国立天文台研究交流委員会で審査し, 運営協議委員会の議を経て台長が決定します。

なお, 共同開発研究で研究期間が年度をこえるものについては, 申請書にその旨記載のうえ, 次年度にあらためて新規公募手続に従って, 申込書提出してください。

6. 採択通知：採否の決定は, 平成 13 年 5 月 (予定) に行われ, 結果を各申請者に通知します。

7. 所要経費：予算の範囲内において本天文台で支出します。

8. 施設等の利用：諸施設の利用については, 天文台規則を遵守し, 責任者の指示に従ってください。

9. 研究報告：研究終了後, 30 日以内に所定の様式による報告書を 1 部台長あて提出してください。

なお, 提出された報告書は, 本天文台の広報誌等に掲載することがあります。

10. 申込書提出先及び問合せ先：

〒 181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1

国立天文台管理部庶務課共同利用係

Tel: 0422-34-3660 / 3661

その他

「第42回科学技術映像祭参加作品募集」

科学技術に関する優れた映像を選奨する、科学技術映像祭の参加作品を募集。

分野は「科学教育」「基礎研究」「科学技術」「医学」「ポピュラーサイエンス」の5部門。

参加資格は日本所在の製作者、企画者(スポンサー)、テレビ局、学術研究機関、及び個人が製作し、2000年2月1日～2001年1月31日までに完成または放映した映像作品。

応募締切は2001年1月31日まで。3月中旬に内閣総理大臣賞等の入選作品を発表。

● 問合せ先:

日本科学技術振興財団内 科学技術映像祭事務局  
〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園 2-1  
Tel: 03-3212-2454  
Fax: 03-3212-0014  
URL: <http://ppd.jsf.or.jp/shinko/pro/s-m/index.htm>

会務案内

日本天文学会早川幸男基金受給者募集要項

日本天文学会 早川幸男基金(若手海外学術研究援助基金)内規\*に基づき、海外学術研究に対して援助を希望する者を募集(2001年度第2期)致します。

1. 援助金総額 年間 200万円(2001年度)
2. 援助件数 年間 10数件程度
3. 募集対象期間 2001年4月1日～6月30日の間に日本を出発するもの。また前回の応募時に間に合わず、すでに渡航してしまった場合はその事情説明をつけて応募して下さい。

4. 応募必要書類(少なくともコピーの分はA4紙に統一すること)

原本1部、コピー5部。

書類(特にコピーの分)に不備があると審査段階で不利益を被る恐れがありますのでご注意ください。

- (1) 応募用カバーシート(第93巻4号237頁の応募用紙をA4に拡大コピーして使用する)。なお、渡航目的と応募者の研究内容との関連は詳しく書くこと。渡航費見積金額は航空運賃を記入して下さい(保険料、出入国税等は含めない)。
- (2) 論文リストを含む研究業績
- (3) 観測については、観測割当通知および観測提案の写しか、それに準ずるもの
- (4) 国際共同研究については、渡航先の招聘状および研究計画の概要
- (5) 研究集会参加については、当該研究会開催の主旨を説明する資料、プログラム、および応募者の寄与(口頭発表等)を証明するもの
- (6) 大学院生の場合、研究指導者の意見書
- (7) 航空運賃の見積書、渡航後の場合は領収書のコピーも添付する。
- (8) 関連研究論文の写し(一編)

5. 応募締切: 2001年3月10日必着

6. 決定時期: 2001年3月下旬

7. 応募書類送付先:

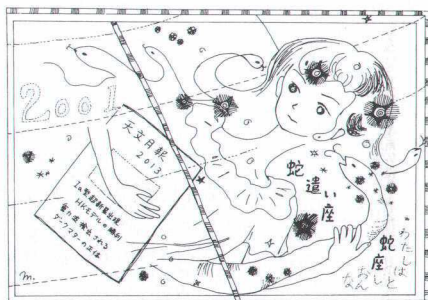
〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1

国立天文台内 日本天文学会 早川基金募集係

\* 早川基金内規(社団法人日本天文学会定款参照)による援助対象資格は「日本天文学会正会員で、原則として35歳以下の天文学研究者であって、この基金以外の海外渡航費(滞在費を除く)の援助を受けない者。」です。

◎2001年はこの後、6月10日締め切りで2001年7月～9月出発分の募集を行う予定です。応募希望者は書類等の準備をしてください。

◎援助者には、1,200字前後の帰国報告書と写真があれば提出をお願いします。これは天文月報に掲載されます。

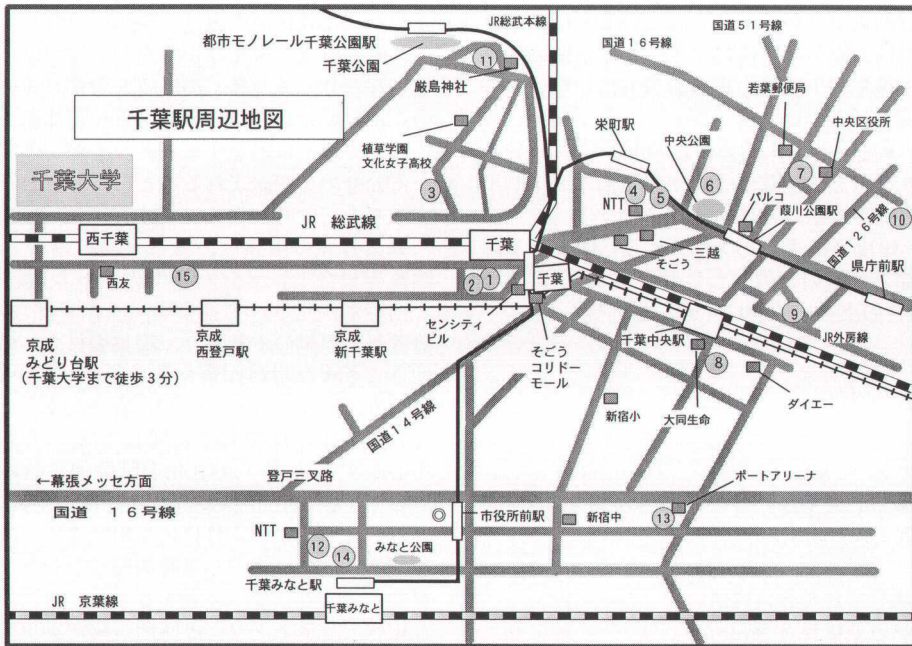


加藤万里子  
(慶応義塾大学天文学教室)

年会案内

日本天文学会 2001 年春季年会 宿泊のご案内

平成 13 年 3 月 26 日(月)～ 28 日(水)にかけて千葉大学で行われる春季年会の宿泊のご案内です。  
 主なホテルのリスト、電話番号とシングル泊の料金の目安を示します。直接ホテルにご予約下さい。



	ホテル名	電話番号	シングル料金	最寄駅からの所要時間(徒歩)
1	ホテルサンシティ千葉	043-247-1101	4800円～(税込)	千葉駅 西口から1分
2	バーディホテル千葉	043-248-5551	6000円～(税別)	千葉駅 西口から1分
3	スーパーホテル千葉駅前	043-255-9000	4800円～(税別)	千葉駅 西口から1分 (2000年開業)
4	千葉ワシントンホテル	043-222-4511	6029円～(税込)	千葉駅から5分 モノレール栄町駅から1分
5	東横イン千葉駅前	043-227-1045	5800円～(税別)	千葉駅から5分 モノレール栄町駅から2分
6	ホテルサンガーデン千葉	043-224-1131	7800円(税別)	千葉駅から7分 モノレール菟川公園駅から2分
7	三恵シティホテル	043-227-3330	5040円(税サ込)	千葉駅から13分 モノレール菟川公園駅から3分
8	千葉パールホテル	043-247-8080	5400円～(税別)	京成千葉中央駅から1分
9	ホテルルートイン千葉	043-201-1160	5800円～(税別)	京成千葉中央駅から1分 (2000年開業)
10	千葉宿泊所 青雲閣	043-222-0211	6571円～(税込)	千葉駅:京成バス利用大学病院行大和橋下車
11	パークサイドホテル	043-284-7001	5900円(税込)	千葉駅から13分
12	ホテルニューツカモト	043-243-1111	8000円～(税別)	モノレール千葉みなと駅から3分
13	東横イン千葉ポートスクエア	043-245-6777	5800円～(税別)	モノレール市役所駅から3分
14	ポートプラザちば	043-247-7211	7000円(税サ別)	モノレール千葉みなと駅から1分
15	プラザホテル	043-241-8051	5500円～(税込)	西千葉駅から1分

\*千葉駅から1時間圏内の津田沼駅、錦糸町駅周辺にも多くの宿泊施設がございます。



## ● 事務室だより ●

## 会費納入のお願い

天文学会は主に会員の皆様から納入される会費によって運営されております。天文学会は会計年度が1月～12月です。前納をお願いしていますので早い内での2001年度会費を納入して下さい。年会費納入時に、春・秋季年会予稿集の予約をしている方は予稿集代金も加算してご納入下さい。予約されている人は、天文月報の郵送封筒の宛名の下段に“予”の字が印刷されています（予稿集の予約は中止のお申し出がない限り自動的に継続されます）。

尚、2000年度会費の未納の方は2001年3月発行の刊行物より発送を中止致しますが、退会のお申し出がない限り会費の支払い義務は有ります。

又、1999年度会費未納の方は、3月に開かれる評議員会にて除名処分の処置がとられますが、1999～2000年度会費の支払い義務は免ぜられません。

## 訂正

天文月報第94巻1号の書評に誤りがありました。お詫びして訂正致します。

誤) 通産省通信総合研究所  
 正) 郵政省通信総合研究所  
 (2000年12月現在)

## 編集後記

世紀を越えて天文月報の編集長をお引き受けすることになりました。天文月報の編集委員会では多くの編集委員が前世紀から残留し、さらに強力なメンバーが加入しました。新理事長の巻頭言にもありますように、今年も紙面の充実に向け、さらに努力を重ねていきたいと考えております。

紙面の充実に関しては、先日も貴重なご指摘を頂きました。ご指摘の内容は、原稿中で取り上げられている人名が所属を含まなかったり名字だけの場合が見受けられたり、また多くの略語が含まれる原稿があるとのことでした。編集委員による校正作業でも、今後はこれまで以上に注意する方針ですが、著者の方にも異なる分野の方が読まれることにご留意いただけますと幸いです。

天文月報の編集は、月に一回の割合で開催される編集委員会と、メンバー内のメール連絡の形で方針と内容が決定されています。しかし毎月の出版には、著者との原稿のやり取り、編集委員会への連絡、その他さまざまな事務作業を取り仕切っている山崎さん、そして、DTPの峯尾さんの存在が欠かせません。

天文月報のDTP作業に関しては、『月報だより』を中心とする後半のDTP化を試験的に始めたのを出発点として、現在ではこの天文月報の全頁をDTP作業で行っています。これにより出版までの所要時間が短縮され、従来と比較して時間的にフレキシブルな対応ができるようになってきました。このため従来の方法と比べてコストダウンと時間短縮が実現され、近年では紙面のページ数の増量とコストの削減が同時に実現されています。

話題が前後いたしますが、昨年11月には天文月報編集委員会で合宿を行い、新世紀の天文月報で取り上げるべき内容について議論を行いました。この合宿の報告は、まもなく『天文月報編集委員会合宿記録』の形で掲載する予定ですが、そこで話題となった各テーマについての掘り下げた内容の記事も計画しております。今年も天文月報にご期待下さい。

上野宗孝(天文月報編集長)

編集委員 上野宗孝(編集長)、伊藤孝士、大橋正健、小野智子、斎藤芳隆、田村元秀、土橋一仁、内藤統也、和田桂一  
 平成13年1月20日 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会  
 印刷発行 印刷所 〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町 565-12 啓文堂 松本印刷  
 定価 700円(本体 667円) 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会  
 Tel: 0422-31-1359(事務室) / 0422-31-5488(月報・欧文編集) Fax: 0422-31-5487 振替口座 00160-1-13595  
 日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: [jimu@geppou.asj.or.jp](mailto:jimu@geppou.asj.or.jp) DTP: 峯尾由紀子